

再評価調書(再々評価)

事業名	一級河川佐備川 河川改修事業				
担当部署	都市整備部河川室河川整備課中小河川G(06-6944-9297)				
事業箇所	富田林市東板持町地先～富田林市佐備地先				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	佐備川は、昭和55年度に全体計画の認可を受け、順次下流より改修工事を進めているが、現在も未改修部において流下能力が大きく不足しており、洪水による被害を防止するため、河川改修を進める。			
	内容	<b>【全体計画】</b> 河川延長 L=約1.9km 目標流量：200m <sup>3</sup> /s (100年確率 時間雨量77.7ミリ) 130m <sup>3</sup> /s (10年確率 時間雨量51.9ミリ) 護岸工：1.9km, 道路橋：8橋、堰：1基			
	事業費	全体事業費：約28億円(約28億円)内投資済事業費：約20億円(約11億円) (内訳)調査費約2億円(約2億円) (内訳)調査費約1億円(約1億円) 用地費約13億円(約13億円) 用地費約10億円(約3億円) 工事費約13億円(約13億円) 工事費約9億円(約7億円)			
	( )内の数値は前回評価時点のもの	<b>【事業費の変動理由】</b> 変更なし	<b>【工事費の内訳】</b> 護岸工 約10億円 道路橋 約2億円 堰 約1億円		
	事業費の変動要因	<b>【他事業者との協議状況】</b> 橋梁架け替えについては、橋梁管理者と適宜協議を実施。 <b>【再評価時に予測した事業費変動要因の状況】</b> 橋梁管理者との協議内容により事業費の変動の可能性がある。 <b>【計画変更の予定】</b> 特になし			
	維持管理費	約14百万円/年(実績等に基づく算定)			
	上位計画	大和川水系石川7'の河川整備計画(H21策定予定) 「大阪府都市基盤整備中期計画(案)改定版」(H17.3)			
	関連事業				
事業の進捗状況	経過	事前評価時点 (S55)	再評価時点 (H15)	再々評価時点 (H20)	分析
	事業採択年度	S55	S55	S55	・改修事業については概ね順調に進んでいる。
	事業着工年度	S56	S56	S56	
	完成予定年度	H32	H32	H32	
	進捗状況	全体計画 整備延長(1/100年確率) L=1.9km 整備延長(1/10年確率) L=1.9km	用地 26% <10920 m <sup>2</sup> /42000 m <sup>2</sup> > 工事 53% 整備済延長(1/100年確率) L=0km(0%) 整備済延長(1/10年確率) L=0.4km(21%)	用地 73% <30660 m <sup>2</sup> /42000 m <sup>2</sup> > 工事 69% 整備済延長(1/100年確率) L=0km(0%) 整備済延長(1/10年確率) L=0.6km(30%)	改修箇所から氾濫防止が図れる。
今後の事業進捗の見通し	全体計画に従い、1/100年確率の大雨による洪水を安全に流下できるよう改修を進める。ただし、整備にあたっては段階的に進めるものとし、当面は、1/10年確率の大雨による洪水を安全に流下できるよう改修を先行させる。 <b>【新たなコスト縮減や代替案等の可能性】</b> 特になし。				

事業を巡る社会情勢の変化	事前評価時点	再評価時点	再々評価時点	分析
	河川改修事業 ・想定氾濫区域 99.5ha ・浸水戸数 約500戸	河川改修事業 ・想定氾濫区域 99.4ha ・浸水戸数 約560戸	河川改修事業 ・想定氾濫区域 99.4ha ・浸水戸数 約574戸	想定氾濫区域内の人口が微増した。
事業目的に関する諸状況	・改修工事、用地買収も地元の協力のもと順調に進んでいる。	同左	同左	改修工事に地元は協力的であり、用地買収は順調に進んでいる。
	地元等の協力体制			

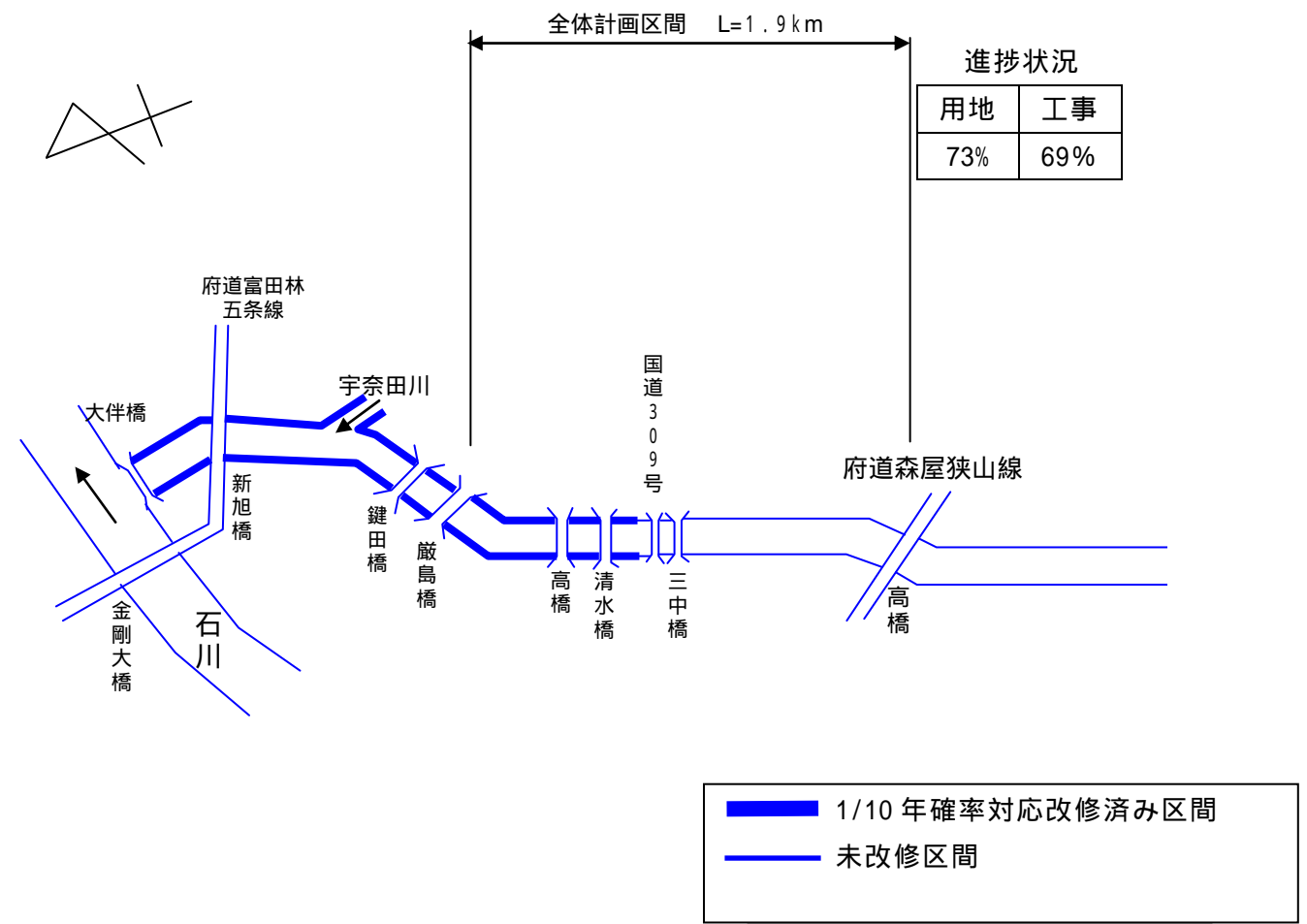
	事前評価時点での想定		再評価時点での状況	再々評価時点での状況(変更点)	分析
		備考			
事業効果の分析	費用便益分析	下記、代替指標による	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 3 . 8 4</li> <li>便益総額 B = 1 0 1 . 9 億円</li> <li>総費用 C = 2 6 . 5 億円</li> <li>・ 費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル(案) 平成 12 年 5 月</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 3 . 3 9</li> <li>便益総額 B = 1 0 0 . 8 億円 浸水被害軽減便益 1 0 0 . 8 億円</li> <li>総費用 C = 2 9 . 7 億円 建設費 2 5 . 9 億円 維持管理費 3 . 8 億円</li> <li>・ 費用便益算定の根拠： 治水経済調査マニュアル(案) 平成 17 年 4 月</li> </ul>	B/C が前回評価時に比べ低下したのは家庭人口は増えたが事業所数が減じたため。
	その他の指標(代替指標)	C / B = 1 6 . 8 年平均被害軽減額 B = 1 . 1 億円 総事業費 C = 2 0 . 0 億円	便益内容：資産被害抑止効果 受益者： 周辺住民、農業従事者 事業効果算定の根拠：治水経済要綱		
	定性的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水被害の軽減(生命・財産) 河川改修により、治水安全度が向上し、府民の生命・財産を守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浸水被害の軽減(生命・財産) 河川改修により、治水安全度が向上し、府民の生命・財産を守る。</li> <li>・ 交流拠点の形成(良好な水辺空間) 堤防道路は、小中学校の通学ルートや周辺住民の散歩道として利用されており、佐備川は常に周辺住民の目に触れる水辺である。</li> <li>・ 景観(周辺住民と調和した水辺景観) 自然環境に重視した改修を行う。</li> </ul>	同左	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 9 年の河川法改正により治水・利水に加え環境に配慮した河川整備を目標としている。</li> <li>・ 改修事業の実地区間では治水安全度が向上している。</li> <li>・ 地域住民の安らぎの場を提供している</li> </ul>
自然環境等への影響と対策	記載なし		佐備川の現在の自然環境を十分考慮し、動植物の保全に配慮する。	同左	
その他特記すべき事項				河川の水位情報、浸水想定区域公表している。	
前回評価時の意見具申・府の対応方針の概要	<b>【意見具申】</b>  <b>【府の対応方針】</b>		<b>【意見具申】</b> 本事業については、「事業実施は妥当」と判断する。  <b>【府の対応方針】</b> 『事業実施』とする。	(前回評価に対する具体的な取組み)引き続き事業の進捗に努める。	

一級河川佐備川 河川改修事業概要図

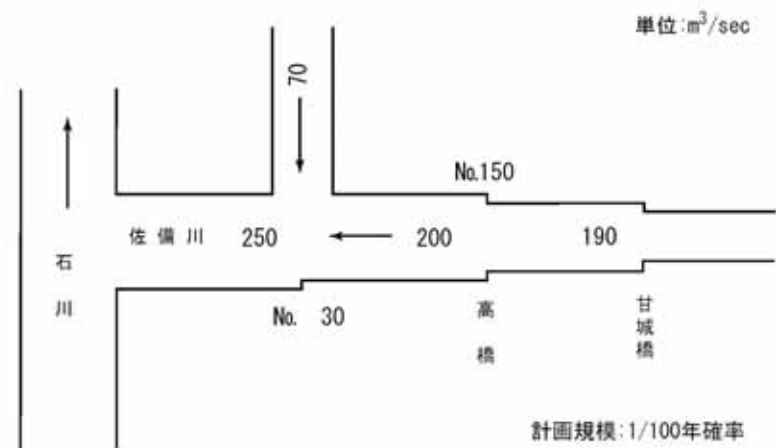
事業箇所図



平面図



流量配分図



標準断面図

